

主な展示資料：

自然金、自然銀、自然銅、黄銅鉱、輝水鉛鉱、輝蒼鉛鉱、褐鉄鉱、赤鉄鉱、孔雀石、藍銅鉱、菱マンガン鉱、重晶石、砂漠のバラ、タンバン、碧玉、方ソーダ石、ヒスイ輝石、紫水晶、バラ石英、ソロバン玉石、琥珀、ガーネット、アクアマリン、ダイヤモンド、エメラルド、ムーンストーン、ルビー、サファイア、オパール、トパーズ、トルコ石 など



ソロバン玉石 県天然指定記念物



孔雀石



山形県白鷹町が産地として有名ですが、その後白鷹町の文化財として保護されたため採集することはできなくなっています。黒鴨石は泥の堆積物が泥岩に変わる過程で石灰質成分が濃集し、形成された泥灰質ノジュール（泥灰質団塊）です。

鈴石

カラカラと音を出す鈴に似たこの石は、「鈴石」と呼ばれています。鈴石の中に水を入れておくと、天然の鉄分補給水となり、女性（特に妊婦）により薬であったなど、昔は医薬として用いられたこともあったようです。



主な展示資料：

高師小僧、黒鴨石、月布石、鈴石、大理石、十勝石、蛇紋岩、球状閃緑岩、球顆流紋岩、プレインビュー隕石など

謝辞

当企画展は、多くの方々のご指導や資料提供のもと開催することができました。ここに記し、深く感謝の意を表します。

資料提供

中島和夫氏（山形市）、横路悠氏（北秋田市）

平成 22 年度企画展

「うつくしい鉱物と岩石」展



平成 23 年 2 月 26 日(土)

~5 月 8 日(日)

山形県立博物館

〒990-0826 山形市霞城町 1-8

TEL 023-645-1111 FAX 023-645-1112

URL <http://www.yamagata-museum.jp/>

めずらしい石ころ

黒鴨石

黒鴨石は、1960 年代に飾り石として一時ブームとなり、川沿いに落ちた黒鴨石を拾うために多くの方が訪れたといえます。

開催にあたって

子どもの頃に、河原で小石を拾って遊んだ思い出を、多くの方がお持ちのことでしょう。

きれいな色の石、かわった形の石、模様のある石など、どれひとつをとっても同じものはありません。自然がつくり出した、自分だけの石を手にしたときのわくわくするような嬉しさ、楽しさを記憶されている方もおられることと思います。

本展は、そんな記憶を持ちながら、これまで鉱物や岩石というものにあまりなじみがなかった方々にも、気軽に楽しくご覧いただける展示としました。これから、科学のメルヘンの世界へのご案内します。本展を通して、うつくしい鉱物と岩石の魅力を感じ取っていただければ幸いです。

本展を開催するにあたり、ご協力いただきました関係各位、ご指導いただきました皆様に厚く御礼を申し上げます。

平成23年2月26日

山形県立博物館長 石垣 立郎

うつくしい鉱物



水島 (日本式双晶)

水島

水島は無色透明な自形結晶の石英のことで、最も普遍的に産出する造岩鉱物の一つです。“水島”ともいいますが、これは一年中雪を頂くアルプスの山中から産することが古くから知られており、昔のローマ人が“水の化石”と信じていたことに由来します。日本式双晶はふたつの結晶が約85度の角度で接合しており、外国ではあまりみられず、日本でたくさんとれることからこのように呼ばれています。

螢石

熱すると青みをおびた光（螢光）を発することから、螢石という名がつけました。飾り石としても人気が高いですが、一方では工業分野で幅広く利用されています。螢石はフッ素の原料鉱物です。水への添加剤や、身近なものではフライパンなどの汚れ・固着防止のためのテフロンコーティングを作るために使われています。



サード, サードニクス

淡褐色～濃褐色で半透明の玉髓をサードといい、サードと白い玉髓が交互に重なって縞状構造を示すものをサードニクスと呼んでいます。古くからサードを身につけていると幸運に恵まれると信じられ、沈み彫りの素材として利用されてきました。



サード



サードニクス
(カット石)

生活を支える鉱物

ベントナイト

堆積した火山灰などに温度や圧力が加わることで変質してできたモンモリロナイトという粘土鉱物を主成分とします。大江町の月布鉱山から採れるベントナイトは膨潤性が強く、質がよいとされ、全国的に有名な鉱山です。

黒鉛

約1500万年前、日本海が割れて海底火山活動が起こったときにできたものです。方鉛鉱・閃亜鉛鉱に富み、黒く緻密な見かけをもつことから黒鉛と呼ばれています。黒鉛は日本独自の金属資源として長年貢献してきた鉱石です。



ベントナイト



黒鉛